

開け口

ご使用に際して、この箱の記載内容をよくお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

△ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の部位には使用しないこと
  - (1) 水痘(水ぼうそう)、みずむし・たむし等又は化膿している患部。
  - (2) 創傷面、目の周囲、粘膜等
2. 顔面には、広範囲に使用しないこと
3. 長期連用しないこと

🗨️ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
  - (1) 医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (4) 患部が広範囲の人。
  - (5) 湿潤やただれのひどい人。
2. 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、乾燥感、刺激感、熱感、ヒリヒリ感、はれ、かぶれ
皮膚(患部)	みずむし・たむし等の白癬、にきび、化膿症状、持続的な刺激感

3.5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

# 頭皮 などの かゆみ 湿疹 かぶれ



湿疹・かぶれ  
治療薬

Medicine for eczema and rash lotion

ローションの色 透明

内容量 30mL



エクシロン  
HD

頭皮などの  
湿疹、かぶれ、かゆみ  
内容量 30mL 第②類  
医薬品

目には入れないこと

万協製薬株式会社  
「お客様相談室」  
電話番号 0598-30-5376  
受付時間 10:00～17:00  
(ただし、土、日、祝日は除きます)

製造販売元  
万協製薬株式会社  
三重県多気郡多気町五桂1169-142



4 535653 001570



鎮痒消炎剤

Antipruritic and Anti-inflammatory Drugs

エクシロンHD

第②類  
医薬品

特徴

1. 8つの有効成分が、つらい頭皮のかゆみ、湿疹に効きます。
2. プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル(アンテドラッグステロイド)配合。
3. 1-メントール配合でスーッと爽やかな使い心地です。
4. 患部に直接塗布しやすいピンポイント容器です。

かゆみ

湿疹

かぶれ

効能・効果

湿疹、皮膚炎、あせも、かぶれ、かゆみ、虫さされ、じんましん

用法・用量

1日数回、適量を患部に塗布する。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を守ること。
- (2) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。
- (3) 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗うこと。なお、症状が重い場合には眼科医の診療を受けること。
- (4) 外用にのみ使用すること。
- (5) 患部が傷になってしまっている場合は、塗布したときにしみることもある。

成分・分量(100mL中)

プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル	0.15g
ジフェンヒドラミン塩酸塩	2.0g
クロタミトン	3.0g
グリチルリチン酸二カリウム	1.0g
アラントイン	0.2g
イソプロピルメチルフェノール	0.5g
リドカイン	2.0g
1-メントール	3.5g
添加物として、エデト酸Na、BHT、プロピレングリコール、グリセリン、pH調節剤を含有します。	

容器の使用法

(1) 使用前に、容器の先端を上に向けて、手の指で中栓の先を2～3回空押しして中の空気を抜く。(暑い時期、高温の場所に置かれた場合や薬液が少なくなった場合などに、容器内の内圧が高まり薬液が多く出ることがある。) (2) 使用するときは容器を下向き又は斜めにして、先端を患部に軽く押し当てて塗布する。容器の先端を患部から離すと液が出なくなる。(強く押し当てたり、容器胴部を強く握ると薬液が多く出る。)

保管及び取り扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管すること。(2) 小児の手の届かない所に保管すること。(3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わることがある。)(4) 火気に近づけないこと。(5) メガネ、時計、アクセサリ、プラスチック類、繊維製品、皮革製品、床や家具などの塗装面等に付着すると変質することがあるので、付着しないように注意すること。(6) 染めた髪につくと色落ちすることがある。(7) 使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。なお、使用期限内であっても、一度開封したあとはなるべく早く使用すること。

副作用被害救済制度の問合せ先

[https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)  
(独) 医薬品医療機器総合機構 ☎ 0120-149-931